



お茶の水女子大学附属図書館

Ochanomizu University Library





募集対象

学部生

人数

24人(2025年4月現在)

活動時間

平日9:00~17:00の間で

自ら計画立てて決定

活動目的

図書館スタッフとの協働による 図書館活性化

参加学生に期待する 効果

★幅広い資料に接する ことによる学習支援 ★キャリア意識形成

自分の専攻以外の専門

書を目にする機会も多

く、これまで知らなか

った世界に触れること

じると嬉しい

MuSA

Museum Student Assistant

参加学生に期待する.

効果

| 幅広い資料に実際に

接することによる

スキルアップ

ができた

LiSAの

LiSAイメージキャラクター 声

図書館でのお仕事は本に 関わる仕事ではあるが、 それ以上に「人」に関わ る仕事でもあるのだと感 じられた

歴史資料館/MuSA イメージキャラクター ちせちゃん

活動内容

大学生活で複数のコミュニ ティに所属していたが、 こんなにも温かく見守られ 小さなことでも ていた活動はLiSAだけだ 自分の成長を感 と思う

活動 内容

しほりちゃん

通常業務

LiSA活動は、

れています

学内インターンシップ

として、職業経験を将来に活

かすことを目的として展開さ

図書の装備や書架整理など、 図書館の基本的な業務を行います 学生からの意見をもとに新たな 業務が展開されるなど、 発展的なサービスの拡充にも つながっています

自主企画

LiSAが企画立案から実施 まで行う業務です 新入生向け図書館ツアー やLiSA活動の広報などが 行われています

募集対象

大学院生(TA) 人数

5名(2025年4月現在)

活動時間

平日授業日12:00~14:00

活動目的

学習・研究のピアサポート

参加学生に期待する 効果

利用者と対等の 立場で「共に学び、 共に成長する」

活動内容

学習相談

専門や得意分野の異なるLALAが 曜日ごとに在籍し、図書館 ラーニングコモンズ内のデスクで 相談に応じています

セミナーの開催

よくある質問や自身の経験談を まとめ、不定期でセミナーを 開催することもあります

教員と学生を つなぐ役割を 果たしています

LALAイメージキャラクター ららさん

LALAの声

文理を越えて 他の院生と 交流できる

図書館や情報検索の 方法について もっと詳しくなった

大学教員を目指しており、 学生と学習や研究の お話ができる機会は 自分の成長にも 繋がると考えた

PCサポーター

参加学生に期待する

効果

PCに関するスキルを

伸ばすとともに、

高い職業意識を

形成する



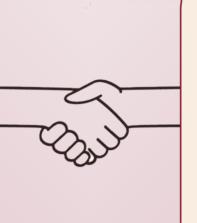
学生の可能性を広げる協働 ~お茶の水女子大学附属図書館の取り組み~

本学では4つの学生協働を行っており、 参加する学生、利用者、図書館の三方に 有益な活動となっています

参加学生

- 自らの成長につながる
- キャリアを見据えて 様々な経験を積む

ことができる



利用者

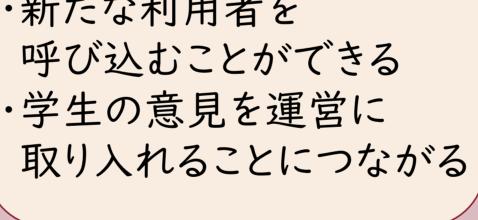
・学習支援、PCサポート といったサービスを ワンストップで 受けることができる



・新たな利用者を 呼び込むことができる ・学生の意見を運営に



図書館



活動内容

- PCやプリンターを設置している 「PCスクエア」の利用環境保護
- 端末やプリンター利用者のサポート

PCサポーターの特色

ここ数年留学生が多く在籍しており、 柔軟な言語対応を実現している

MuSAの声

・学芸員課程で学ぶ理論を実際に 体験できる素敵な活動だと思う

歴史資料館から依頼する業務

例:企画展示の設営(パネルの作成や

展示等)、データ入力(目録作成)、

収蔵庫と展示室の温湿度チェック等

・自分の専門分野では触れないような 大学に関する史料に実際に 触れることができた

募集対象

学部生、大学院生

人数

8名(2025年4月現在)

活動時間

平日 | 3:00~ | 7:00 原則週 | 日

活動目的

歴史資料館スタッフとの 協働による歴史資料館活性化



募集対象

活動時間

大学院生(TA)

3名(2025年4月現在)

平日授業日11:30-14:30

・端末やプリンター利用のサポート

・利用者が気軽に質問できる場の提供

活動目的













作成者:図書・情報課 係員 栗田花野・森本ひのき